

イベント開催時のチェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

開催概要	昨今、生涯学習を推進する上で、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どのように学んだことを活かすか」を考えて見つけられるような機会を提供し、県民の皆様の学習ニーズに応えることが求められています。令和4年度は「何を学ぶか」「どのように学ぶか」に関する内容の講座を開催し、生涯学習の発展的な普及・継続を推進することを目的としています。	
イベント名	大人がはじめる学び方講座 第1回「これから求められるおとなの学び」 第2回「人生100年時代の生き方・学び方、さあ、あなたの「脳」に目覚めよう!!」 ① https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/new-info/2022/09/lib-library-5312.html ② https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/new-info/2022/09/lib-library-5312.html	
出演者・チーム等	①柳川 範之氏(東京大学 経済学部教授) ②杉山 崇氏(神奈川大学 人間科学部教授)	
開催日時	①令和4年11月20日(日) 14時40分～16時10分 ②令和4年11月23日(水・祝)13時30分～15時00分	
開催会場	県立図書館本館4階 学び⇔交流エリア	
会場所在地	〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2	
主催者	神奈川県立図書館	
主催者所在地	会場所在地と同じ	
主催者連絡先	(電話番号) 045-263-5900	(メールアドレス) 県立図書館問合わせフォームへ
収容率(上限) いずれかを選択 ・ 収容定員	大声なしで開催	
	<input type="checkbox"/> ①収容定員あり[100%] (収容定員: 人)	<input checked="" type="checkbox"/> ②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	大声ありで開催	
	<input type="checkbox"/> ③収容定員あり[50%] (収容定員: 人)	<input type="checkbox"/> ④収容定員なし 十分な人と人との間隔(最低1m)
「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催		
⑤収容定員あり(注) 大声なしのエリア:[100%] (収容定員: 人) 大声ありのエリア:[50%] (収容定員: 人)		⑥収容定員なし 大声なしのエリア: 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア: 十分な人と人との間隔(最低1m)
参加人数	①②③④⑥の場合	40人(別途オンライン参加者90人)
	⑤の場合	大声なしのエリア 人(注) 大声ありのエリア 人(注)
その他特記事項	主に聴講の形をとり、観客の質疑応答時には消毒したマイクを使用するため大声は出さない。 (大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)	

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

(注) 収容率(上限)において、⑤を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染対策

- 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、

- 大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保
- 大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

② エアロゾル 感染対策

- 機械換気による常時換気又は窓開け換気
- 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

③ 接触感染対策

- イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策 (2) その他の感染対策

④ 飲食時の 感染対策

- 前項（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知

⑤ イベント前の 感染対策

- 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

⑥ 感染拡大対策

- イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

■ 2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者や スタッフの 感染対策

- 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における前項（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守すること。